

## 内閣府本府政策評価有識者懇談会（第36回）議事要旨

1. 日 時 令和2年10月30日（金）10:00～12:16

2. 場 所 中央合同庁舎第8号館5階共用C会議室

3. 出席者

（委員）

座長	山谷 清志	同志社大学政策学部、大学院総合政策科学研究科教授
	伊藤 正次	東京都立大学法学部、大学院法学政治学研究科教授
	佐藤 主光	一橋大学経済学研究科教授
	白石 小百合	横浜市立大学国際商学部教授
	田辺 国昭	国立社会保障・人口問題研究所所長
	南島 和久	新潟大学法学部教授
	藤田 由紀子	学習院大学法学部教授

（内閣府）

	渡邊 清	内閣府大臣官房政策立案総括審議官
	笹川 敬	内閣府大臣官房政策評価広報課長
	小池 智歌	内閣府大臣官房政策評価広報課課長補佐

4. 議事要旨

令和2年度内閣府本府政策評価実施計画における事後評価対象施策のロジックモデルに関し、各部局（地方創生推進事務局、地方分権改革推進室、経済社会総合研究所、宇宙開発戦略推進事務局、子ども・子育て本部、国際平和協力本部事務局）からヒアリングを実施。委員からの主な意見やコメントは以下の通り。

《全般》

- 多数の関係省庁が存在する施策については、当該施策における内閣府の役割や立ち位置を明らかにすべきではないか。
- 施策に係る外部要因についても記載すべきではないか。
- 事業や中目標相互の関係性を明示すべきではないか。

《地方創生推進事務局》

- 中目標の測定指標としてアウトプットの指標が設定されている箇所があるので整理すべきではないか。

《地方分権改革推進室》

- 施策目標の測定指標について定量化（提案団体の満足度 等）すべきではないか。
- 分かりやすさの観点から、ロジックモデルはツリー構造となるように意識した方がよい。

《経済社会総合研究所》

- 経済社会活動に関する研究として、生産性やデジタルエコノミーに関する研究を実施していると思うので、それらもロジックモデル上に示すとよいと思う。
- アクティビティ及びそれと因果関係があるアウトカムにおいて同義の記載を反復している箇所があるので整理すべき。

《宇宙開発戦略推進事務局》

- 個々の事業か宇宙基本計画のどちらかに整理の軸を置いて作成すべき。
- アウトカムの測定指標をもう少し充実できないか。

《子ども・子育て本部》

- 地域少子化対策重点推進交付金に関して、国や自治体が設定している KPI の達成割合・状況をアウトカムの測定指標にすると定量的に評価できると考える。
- 施策目標に設定されている測定指標により内閣府施策の進展をまとめて測定できると考えた理由を整理すべき。

《国際平和協力本部事務局》

- 人材育成事業に係る中目標の測定指標として、研究員による出前講座の回数等を設定することはできないか。
- 関係省庁（外務省・防衛省）の政策評価等との整合性や対応関係を整理すべき。

等

<文責：内閣府大臣官房政策評価広報課>